

## 単一抵抗器によるウィーンブリッジ発振器の周波数制御

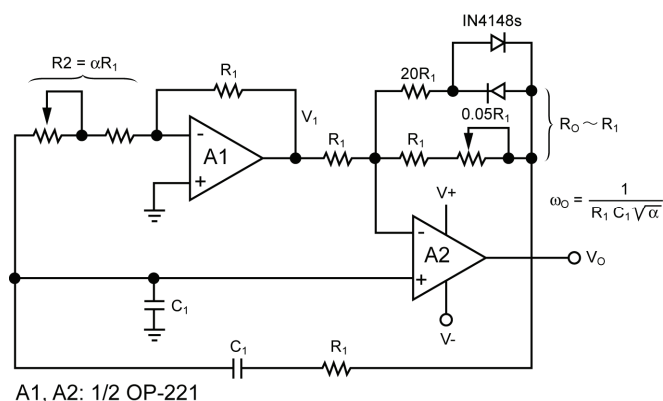
著者: James Wong

オペアンプのインバータ (図の A1) 回路を追加することで、従来のウィーンブリッジ回路に周波数制御を追加することができます。低電力 OP-221 デュアル・オペアンプがこの回路に最適です。中心周波数  $\omega_0$  は、 $1/R_1C_1$  に変数項  $1/\sqrt{\alpha}$  を乗じた値です。インバータのゲインは  $1/\alpha$  であり、 $\alpha$  はユニティ (公称値) です。

中心周波数は、次式で求められます。

$$\omega_0 = \frac{1}{R_1 C_1 \sqrt{\alpha}}$$

この回路を適用することにより、チューニング機能がウィーンブリッジ発振回路に追加されます。



アナログ・デバイセズ社は、提供する情報が正確で信頼できるものであることを期していますが、その情報の利用に関して、あるいは利用によって生じる第三者の特許やその他の権利の侵害に関して一切の責任を負いません。また、アナログ・デバイセズ社の特許または特許の権利の使用を明示的または暗示的に許諾するものでもありません。仕様は、予告なく変更される場合があります。本紙記載の商標および登録商標は、各社の所有に属します。※日本語資料は REVISION が古い場合があります。最新の内容については、英語版をご参照ください。

© Analog Devices, Inc. All rights reserved.